

# アフガニスタン



「学びたい」という  
人々の願いを支えたい



識字教室で学ぶ女性たち

2020年2月にタリバンと米国が和平合意に調印したことを受けて、同9月からはアフガニスタン政府とタリバン間の平和交渉も開始されましたが、難航しています。コロナの拡大、国際支援の減少も重なって情勢は悪化し、市民の生活は一層困窮の度を増しています。

2020年度も、JVCアフガニスタン事務所が現地法人化した(YVO)とのパートナーシップのもと、人びとの教育の権利を守るための『識字アクション』をナンガルハル県で実施しました。2021年4月、3年間にわたる同事業が完了し、これをもってアフガニスタンにおけるJVCの活動をすべて終了しました。



コロナ対策キャンペーンも行った

## [活動概要]

教育の権利実現のため、識字教室の開催を通じて男女の区別なく読み・書き・簡単な計算を学ぶ機会を拡充するとともに、地域全体ならびに将来世代に教育の重要性を伝えるための啓発活動を実施しました。

また、当初の年次計画にはありませんでしたが、7月に、新型コロナウイルス感染症の影響を最も深刻に受けている世帯について聞き取り調査を行い、緊急食料支援を行いました。

## [活動地で生まれた変化]

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、教室の開始が当初計画より2カ月遅れましたが、その後はおおむね予定通りに活動が実施され、約300人(9割が女性)が第1言語の読み書き、計算を学びました。教室では、感染予防対策をとりました。3年目を迎えた本事業のこれまでの活動を通じて、活動地域で識字教育への関心が高まっており、多くの住民から、よりレベルを上げた識字教室(advanced literacy)開催の要請がYVOに届けられています。

また、これまでの修了者と新規参加者との交流活動を行った際に、2019年度までの修了生と以前の教室の教員に対し、聞き取りを行いました。これらの結果は、活動終了に向けて実施している最終評価に活かしました。なお、この評価は、YVOとともに実施しました。

今回の新型コロナの影響を最も深刻に受けている世帯は聞き取り調査の結果、土地なしの日雇い労働者世帯であることが分かりました。長老や宗教指導者にも支援対象者の選定基準を丁寧に説明したうえで、感染症の影響で職を失い、社会的なサポートも得られず、家族の食糧を十分な購入すること

すらできずに困窮していた80世帯に緊急食料支援を行うことができました。



教室でグループワークをする生徒たち



ナンガルハル県の複数の郡でコロナ対策キャンペーンを実施し、村の青年らが協力してくれた

## パートナー団体紹介

### Your Voice Organization (YVO)

YVOは、2019年3月にJVCアフガニスタン事務所が独立して現地法人化した団体です。JVCと協力しながら、地域教育と平和構築の活動に取り組んでいます。